

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	色彩論	岩崎沙織	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
カラーコーディネートやUC（色のユニバーサルデザイン）など、実践的な色の知識・テクニック修得を目指します。配色ルールや色彩イメージを活用した作品制作を行い、色で表現する力と色を伝える力を身につけます。			
<b>【講義概要】</b>			
デザインにおける色の役割、色彩の基礎知識、UC（色のユニバーサルデザイン）、色彩心理、色彩調和の講義・課題制作。色の効果を活用した作品の制作・発表 ※AFT色彩検定3級・UC級対応。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・自己紹介		
2	デザインにおける色の役割・色彩基礎		
3	課題制作①		
4	UC（色のユニバーサルデザイン）		
5	課題制作②		
6	色彩心理		
7	課題制作③		
8	色彩調和		
9	課題制作④		
10	作品制作①		
11	作品制作①		
12	作品制作②		
13	作品制作②		
14	作品発表		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1983年生まれ。お茶の水女子大学生活科学部卒業。服飾史や民俗学を学ぶ。広告会社勤務後、2014年カラーコンサルタントとして独立。パーソナルカラー診断やカラー講座、ブランディング提案を行う。AFT認定色彩講師。UC級認定講師。著書に『「好き」と「似合う」がかなう色の組み合わせBOOK』（池田書店）			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2022年度	2年イラストレーション・絵本専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田 雅樹	2単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
<b>【講義概要】</b>			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
<b>回</b>			
<b>授業計画及び学習の内容</b>			
1	オリエンテーション	17	会話と演習
2	会話と文法	18	会話と演習
3	会話と文法	19	会話と演習
4	会話と文法	20	会話と演習
5	会話と文法	21	会話と演習
6	会話と文法	22	会話と演習
7	会話と文法	23	会話と演習
8	会話と文法	24	会話と演習
9	会話と文法	25	会話と演習
10	会話と文法	26	後期まとめ
11	会話と文法	27	後期まとめ
12	前期まとめ	28	後期まとめ
13	前期まとめ	29	後期まとめ
14	中間試験	30	後期試験
15	会話と演習		
16	会話と演習		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。朗読、吹替え、PVやアートビデオ出演の他、THEATRE茶房の冠ではプロデューズ、演出を兼務。俳優を生かした外国語習得の方法論の探求、実践に取り組む。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年イラストレーション・絵本専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
6/11(土)海外講座A、7/9(土)就職セミナーA、9/17(土)2年就職セミナー、10/15(土)同窓会講座、10/29(土)就職セミナーB、11/19(土)海外講座B、12/11(土)創形展講座、2/10(金)就職セミナー（就活ポートフォリオ）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	海外講座A		
2	就職セミナーA		
3	2年就職セミナー		
4	同窓会講座		
5	就職セミナーB		
6	海外講座B		
7	創形展講座		
8	就職セミナー（就活ポートフォリオ）		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ベーシックイラストレーションA	福井真一	1単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーションについての考察。イラストレーションに必要な幾つかの基本的な練習を行います。			
<b>【講義概要】</b>			
形、色、構図など基本的な事柄をイラストレーションという観点からアプローチします。またイラストレーションに必要な時宜的課題を制作によって行い、それをプレゼンテーションします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作指導		
4	制作		
5	制作指導		
6	制作		
7	制作指導		
8	制作		
9	制作指導		
10	制作		
11	制作指導		
12	制作		
13	制作指導		
14	制作		
15	制作		
16	講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1958年生まれ。青山学院大学経営学部中退。イラストレーター。F-SCHOOL OF ILLUSTRATION 主宰。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デジタルイラストレーション	花島百合	1単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
パソコンを使ってイラストを制作してもらいます。ソフトの長所や技術など、コンピューターを通しての作品作りを学びます。			
<b>【講義概要】</b>			
イラストレーター、フォトショップを使ったイラストレーションの制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	ラフ制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	ラフ途中チェック		
9	制作		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作指導		
13	制作		
14	制作指導		
15	制作		
16	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  創形美術学校卒業後よりイラストレーターとして活動。ザ・チョイス入選。CWCチャンス展セミファイナリスト入選。広告、商品、出版物、キャラクターイラスト、アニメーション等のイラストレーション制作。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアブランディング基礎A	高林直俊	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
各メディアの特徴・特性を理解します。また実践的なクライアントワークを通して、自分のスキルや現状の立ち位置を把握します。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
<b>【講義概要】</b>			
各メディアの特性や相互関係などを把握し、クライアントワークに取り掛かる前のベースを学びます。また課題からプレゼンテーションまで、実践的にリアリティーを持って取り組みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション（課題発表）		
2	課題曲発表 & 実演		
3	ラフアイデア チェック		
4	制作進行 & 進行チェック		
5	制作進行 & 進行チェック		
6	制作進行 & 進行チェック		
7	制作進行 & 進行チェック		
8	プレゼンテーション&講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1978年東京都生まれ。2001年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。井上デザイン事務所・カワムラビデオアクティビティを経て2008年に独立。音楽関連の仕事を中心にCD・レコード・アーティストグッズなどを手掛る。また音楽イベント・写真展・美術館企画展などのアートディレクションなども多数手掛ける。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルイラストレーション基礎	いとう瞳	1単位 42時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
テキスト(文章)を元に絵を描くイラストレーターという仕事を意識し、自らの作品を客観的に見ることを意識する。自分の表現にオリジナリティを見つけ、その部分をどう課題に生かすかその方法を探る。			
<b>【講義概要】</b>			
講評と課題を元に本の挿絵や挿画への表現方法を学習します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／課題説明		
2	制作		
3	制作		
4	講評会 / 課題説明		
5	制作		
6	ラフチェック・制作		
7	制作		
8	講評会/課題説明		
9	制作		
10	ラフチェック・制作		
11	制作		
12	制作(進行チェック)		
13	制作		
14	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1973年千葉県生まれ。東京都在住。1996年武蔵野美術大学油絵学科版画コース卒業。1999年PALETTE CLUB SCHOOL受講。以後フリー。主な表現技法はアクリルガッシュによる手描き。受賞歴／The Choice入賞、HB FILEコンペ鈴木成一賞、ヨコハマコンペ最高賞等。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション個性と表現	飯田 淳	2単位 53時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
週1回の実技指導を通じて、各自の魅力に気付いていくために課題を制作する。アイディアと完成度のバランスも考える。			
<b>【講義概要】</b>			
自分の個性に気づき、それを表現力に繋げ、オリジナリティーある作品を制作する。色々な材料や道具と出会い技法も発見する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	課題作品講評		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	制作		
8	制作指導		
9	課題作品講評		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作指導		
13	課題作品講評		
14	制作指導		
15	制作指導		
16	制作		
17	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 お出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈSCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。 『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションA	関根秀星	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
モノの本質的、外見的な観察力を養い、正しいプロポーションで描く。インプットからアウトプットへ、表現における一連の作業の大切さ、方法を学ぶ。講評により、自作品を客観的に見る力をつける。			
<b>【講義概要】</b>			
鉛筆を用いてモチーフを描く。最終課題では画面構成や見せ方も意識し、作品としての高い完成度を目指す。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	人体デッサン		
3	人体デッサン		
4	講評会		
5	構成デッサン		
6	構成デッサン		
7	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。千葉デザイナー学院非常勤講師。鉛筆と色鉛筆を用い、フットボールイラストレーション、ポートレイトを中心に描くイラストレーター。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	映像ワークショップ	三田村光土里	1単位 33時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
現代社会のクリエイティブ環境の中には、ますますアートの感性や発想を求められる機会が増えてきています。それらは目指す共通の理念がアートとデザイン共に人に「感動」を与える事を目標にしているからに他なりません。そういった時代の流れを受けて様々なアートの分野より活躍している講師からリアルタイムな現場の情報と方法論を学び、クリエイティブな発想の「入口」、「きっかけ」になる講座をめざします。			
<b>【講義概要】</b>			
フォト・ストーリーをつくる			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、自分の好きな風景や被写体を見つけて学校周辺で写真を撮る。		
2	自分の写真集を作るつもりで、自由に撮る		
3	画像をセレクトし、テーマを決めて、タイトルをつける。		
4	グループに分かれて鑑賞し合う		
5	制作チェック		
6	レクチャー		
7	レクチャー・ブレスト		
8	グループミーティング		
9	制作		
10	編集		
11	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 現代美術家。1964年生まれ。写真を使った空間作品を国内外で発表。2006年ウィーン分離派館にて個展。2003年東京都写真美術館『日本の新進作家展vol.2』。2016年あいちトリエンナーレ他。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ベーシックイラストレーションB	都築 潤	1単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーションと紙面デザインについて、基本的な予備演習を行います。			
<b>【講義概要】</b>			
イラストトレーニング、既存のメディアへのイラストの実装 1：メディアやテーマの要求に応えるためのイラスト制作 2：イラストレーション、ビジュアルデザインについての考察			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題1 ガイダンス/出題/ラフ考案		
2	制作		
3	表紙・見開き連動案+チェック		
4	制作		
5	表紙・見開き制作+チェック		
6	制作		
7	表紙・見開き制作		
8	制作		
9	講評会		
10	制作		
11	課題2 出題		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアブランディング基礎B	馬谷浩樹	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自でイメージしたものを実装していけることを目標にします。今後、体験したことを社会で活かせるよう興味を持つことを目標にします。			
【講義概要】			
アプリケーションの画面制作について学びます。各自で制作イメージをイメージして制作体験をします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	環境構築・Xcodeの使い方		
3	各部品の説明(テキストラベル・イメージ等)		
4	レイアウトの調整		
5	デザイン案制作		
6	アプリケーション画面制作		
7	アプリケーション画面制作		
8	講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1978年広島県生まれ。株式会社Playground設立。活動としてアプリケーション開発、Webシステム開発。データ収集、解析。ホームページ制作。プログラミングスクール。Webサービス開発支援など。大手国内、外資系サービスのシステム・ソフトウェアプログラマー経験。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	描写イラストレーションB	須田浩介	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
モチーフをコラージュで作ることで画面の構成や配色を考える、モチーフをよく見る事でその物の持つ色や質感などを捉え、アクリル絵の具を混色する事や、色を重ねる事で生の絵の具やデジタルでは生み出せない色を自らの手で作り対象の持つ色の再現度を高める事を目指します。			
<b>【講義概要】</b>			
水張りした紙、アクリルガッシュ、筆を使用し用意したモチーフをカラーで描く、絵の具を使う時のルールを授業時に指示します。イラストレーションにおけるリアリティーと想像で描く事とモチーフを見て描く事の違いを考え学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	コラージュしたモチーフを絵の具で描く		
3	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作①		
4	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作②		
5	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作③		
6	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作④		
7	コラージュしたモチーフを絵の具で描く 制作⑤		
8	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	実践イラストレーション	信濃八太郎	1単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーターとしての表現の幅を広げるためには体験、実験を軸とした技法を「創造」する必要がある。それを仕事の現場を想定した課題の中から学ぶ。			
<b>【講義概要】</b>			
実際にある雑誌などの媒体に掲載するイラストを想定して作品を制作。クライアントによる作風の注文や表現方法、雑誌掲載の上のお約束事など様々な状況に対応できるスキルを磨く。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作		
4	制作指導		
5	制作		
6	制作指導		
7	制作		
8	制作指導		
9	制作		
10	制作指導		
11	制作		
12	制作指導		
13	制作		
14	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1974年生まれ。イラストレーター。日本大学芸術学部演劇学科舞台装置コース卒業。重要文化財自由学園明日館、ペーターズギャラリー勤務を経てフリーに。雑誌、書籍、広告などのほか、舞台美術やアニメーション作品の制作も行う。東京イラストレーターズソサエティ会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション表現基礎	山碓杉夫	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>「アートとイラストレーションの違いとはなんだろう?」そんな基本的なところから始めて、実技を通してイラストレーションへの理解と興味を深めていきます。ピカソと言う誰でも知っている人物と侶品をテーマにしてイラストレーションに仕上げていきます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>「パブロ・ピカソ」は誰もが知っている有名な画家です。ネットで検索したり、本屋で探せば様々な情報や画集、伝記本など数限りない資料が手に入るはずですが、年代ごとに全然違う作風があり、友人や恋人もたくさんいてとてもドラマチックな人生を送った人です。いろいろな側面があるのでピカソと言う素材を見て、調べ課題に向き合って取り組んでください。イラストレーターとは、お題を出されて、それをヴィジュアル表現を使って解決していく仕事です。今回のお題は「ピカソ」です。どの部分を切り取って、そこにみなさんの個性を反映して自分のイラストレーションに仕上げてください。この授業を通して、イラストレーションとはどういうものなのかを理解して今後につながる基礎を身につけてください。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	○△□だけでピカソ作品を作る (1)		
2	○△□だけでピカソ作品を作る (2)		
3	○△□だけでピカソ作品を作る (3)		
4	ピカソのいる風景を描く (1)		
5	ピカソのいる風景を描く (2)		
6	ピカソのいる風景を描く (3)		
7	ピカソのグッズをデザインする(後半)		
8	ピカソのグッズをデザインする(後半)		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1968年東京都生まれ。神奈川県在住。立教大学経済学部卒。会社員生活を経てセツ・モードセミナー、安西水丸のイラスト塾で学ぶ。イラストレーターとして主に書籍、雑誌を中心に活動中。第21回ザ・チョイス年度賞入賞。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2022年度	2年・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	製本実習	山口茉莉	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。			
<b>【講義概要】</b>			
本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	概要説明/（ノート作成）		
2	上製本制作（本文を綴る）		
3	上製本制作（布の裏打ち）		
4	上製本制作（仕上げ）		
5	簡易製本（イラスト制作）		
6	簡易製本（綴じる）		
7	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>2006年女子美術大学芸術学部絵画学科卒業。2008年同大学院研究領域版画修了。2015年英国JADE BOOKBINDING STUDIOにて研修。近年は「空想建築」を主題として平版画、陶、製本の技術を生かしたミクストメディア作品等を制作発表している。（社）日本版画協会準会員。</u>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ファッションイラスト	平沢けいこ	2単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。			
<b>【講義概要】</b>			
テーマに沿ったイラストを制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/課題の出題		
2	制作		
3	制作		
4	制作過程チェック		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	講評会/課題の出題		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作過程チェック		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年東京都生まれ。PATER大賞展PATER賞受賞。テンプスタッフ『テンプリん。』などのキャラクター他、広告・出版など主に女性向けのイラストレーションを手掛ける。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインとアート	松蔭浩之	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
現代美術の世界をわかりやすく解説。特にデザインの重要な作家と技法を紹介し、実践を試みる。			
<b>【講義概要】</b>			
美術史の流れの中で生まれた技法や手法を用いて、今までの自分とは異なる“変わった”作品を制作。座学とワークショップ形式の授業から現代美術を体感する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	DADA～アヴァンギャルドの時代		
2	イヴ・クライン～ヌーヴォレアリスム		
3	アンディ・ウォーホル～ポップアート		
4	ジェフ・クーンズ～シュミレーショニズム		
5	会田誠と小沢剛～シュミレーショニズム2		
6	現代の美術のあり方		
7	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション個性と技法	飯田 淳	2単位 45時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
与えられたテーマの中で自分の世界を表現しつつも自己満足に終わらず、他者にも伝わるイラスト表現を考える。			
<b>【講義概要】</b>			
テーマに沿ったイラストを制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	課題作品講評		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	課題作品講評		
8	制作指導		
9	制作指導		
10	課題作品講評		
11	制作指導		
12	制作指導		
13	制作指導		
14	制作指導		
15	講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈSCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。</u>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストコミック	石山さやか	1単位 30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>漫画作品(最大16ページ)の制作。          これまで培ってきた自分の作風・興味のあるテーマを大事にしつつ、さらに発想力・考える力を磨いてゆきます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>よく知られる物語の要素を置き換え、自分の漫画作品に仕上げる『翻案』を行います。物語の趣旨を捉える理解力、自分なりのアイデアを含め、作りあげる発想力を問います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・プレスト		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	進捗チェック (ネーム)		
5	制作指導		
6	進捗チェック (ネーム直し・下書き)		
7	制作指導		
8	進捗チェック (作画)		
9	制作指導		
10	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  <u>1981年埼玉県生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科イラストレーション専攻卒業。都内の広告代理店で勤務後、イラストレーター・漫画家としての活動を始める。主な仕事は書籍装丁、雑誌挿絵、児童書挿絵、CDジャケットなど。2017年に初の単行本『サザンウィンドウ・サザンドア』(祥伝社)発売。</u></p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションA	竹内通雅	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
絵本表現における言葉と絵の関係性について考察し、実技演習を通して表現力、技術力を培う。			
<b>【講義概要】</b>			
同一テーマで手製絵本を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ガイダンス、課題説明 プロット等確認、相談。ラフ画制作		
2	ラフ画チェック		
3	本画制作		
4	進捗状況チェック		
5	本画制作チェック		
6	仕上げ相談、制作		
7	講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1957年長野県生まれ。1979年創形美術学校研究科版画課程修了後現代美術作家として活動。1983年よりイラストの仕事を開始。1986年第3回ザ・チョイス年度賞大賞受賞。1996年から絵本作家として活動中。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルイラスト	宮古美智代	1単位 54時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーションのマーケットにおいて、エディトリアルな占める割合は大きい。実際のエディトリアルデザインの現場に携わるアートディレクターによる実習。ADの視点において評価していく。			
<b>【講義概要】</b>			
与えられた短編を読み、その文章のためのイラストを描く。文章を読み解き、何を描くべきか、また、どのようにレイアウトデザインにおとしこんでいくか。その考えと実制作を行なう。			
①. 各学生の作品を見る。短いエッセイを読んでもらい、どんな絵を描きたいと思うかディスカッション			
②. 雑誌や絵本等を見て、イラストと文章の関係について考えてみる。短編を読み、描くモチーフ、ページ構成を考える。			
③. 描き上げた絵をスクリーンに映し、その絵がどのようにレイアウトされていくかを説明しつつ、実践。各自講評			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作
2	制作	18	講評会
3	制作		
4	課題説明、ラフ作成		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	ラフ確認、課題制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	課題制作、進行状況確認		
16	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1976年生まれ。アートディレクター。イラストレーター・石倉ヒロユキ、装幀家・緒方修一のアシスタントを経て、 現在、雑誌『Coyote』『MONKEY』『暮しの手帖』のアートディレクター。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザインの仕事と現場	大久保裕文	1単位 39時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
印刷媒体を中心としたグラフィックデザインのアイデアや実際の作業の説明。			
<b>【講義概要】</b>			
いままで経験したデザイン事例の解説。数回、編集者やカメラマンを呼んで、彼らとの仕事の関連事例を伝える。課題としては街の風景写真、フライヤー制作、アルファベットのタイポグラフィ制作など。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義、ディスカッション		
3	講義、ディスカッション		
4	講義、演習		
5	講義、ディスカッション		
6	講義、ディスカッション		
7	講義、演習		
8	講義、ディスカッション		
9	講義、ディスカッション		
10	講義、演習		
11	発表・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義およびディスカッション形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年東京都下谷生まれ。セツ・モードセミナー、桑沢デザイン研究所卒業。雑誌を中心に書籍、ポスター、新聞広告等で活動中。2005年、2006年読売広告金賞。2009年桑沢賞受賞。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	テーマ表現イラスト	カトウフレンド	1単位 57時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
商業施設ポスター（その商業施設の何周年かのアニバーサリー様ビジュアル）を想定としたイラスト制作			
<b>【講義概要】</b>			
イラストレーションとして世の中に出た際に自分で描いた絵がどのように見えるのか、また目的があるビジュアルイメージをどのように表現できるかを考えて制作。商業施設のビジュアルとしてあまり縛りが無いイラストを描き、文字が入る事を想定し、仕事として描いた場合の工夫を行なう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作
2	制作	18	制作
3	制作	19	講評会
4	制作		
5	制作チェック		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作チェック		
15	制作		
16	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1984年生まれ。創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。モチーフの印象を透明感のある色彩で表現し、時にはパターンや文字を作品に組み込むことで、力強いメッセージを携えた、幻想的でユニークな作品を制作している。様々な媒体へのイラストレーションの提供から、プロダクト開発、ウィンドウディスプレイなど、クライアントワークの幅を広げつつ、国内外で展覧会を開催し、その世界観をつくりあげている。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストアニメーション	飯田 萌	1単位 48時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
手描き、コマ撮りなど様々なアニメーション表現を作品鑑賞から探り、絵が動く楽しさを、自身の制作を通し経験する。			
<b>【講義概要】</b>			
様々なアニメーション作品の鑑賞とアニメーション制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	作画と作品鑑賞		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	作画と作品鑑賞		
6	制作		
7	制作		
8	作画と作品鑑賞		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	作画と作品鑑賞		
13	編集		
14	編集		
15	編集		
16	上映会（講評）		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 010年多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。2012年同大学院修了。フジテレビ『ベビスマ』、NHK『デジタル・ティーンズ』にて作品紹介。アニメーション作品『臓器大学』が学生CGコンテスト銀賞、TSSショートムービーフェスティバル佳作受賞など。2015年タンバリンギャラリーにて個展。その他、MONSTER展（ヒカリエ）、MONSTER展inNY、bustercall ワンピース展など多数。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	先端メディア	八幡純和	1単位 12時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
VRという技術とそこに連動して様々な新しい魅力を展開しているサービスへの理解。また先端技術を応用した作品制作への展開。			
<b>【講義概要】</b>			
ゲームやファッションの世界だけでなく現代の様々なカルチャーやサービス、イベントなどと連動して発展している「VR（バーチャルリアリティ）」の世界。そのVRの仕組みと特性を理解しながらバーチャル空間ならではの作品制作を個々に試みます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	企画・演出		
3	企画・演出		
4	講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>携帯キャリア公式コンテンツ配信プラットフォームやアプリストアなど、主に大規模システムの開発・運用に携わる。2015年 Psychic VR Lab 設立に参画。三越伊勢丹やパルコ、ファッションブランドとVRを活用した様々な企画・製作を手掛ける。2018年パルコらと共に様々なクリエイター／アーティストとVR/MRを使って超体験をデザインするプロジェクト NEWVIEW をスタート。</u>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本イラストレーションB	岡山伸也	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
既存の物語という限定された条件の中、制作することで、いかにして自分のオリジナリティを反映させ作品、商品として質の高い絵本に仕上げていくかを学びます。			
<b>【講義概要】</b>			
名作物語やおとぎ話に挿絵を描く形で絵本を制作します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	絵コンテ製作		
3	絵コンテ講評		
4	ラフ～本描き		
5	本描き		
6	本描き		
7	製本・講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1982年茨城県生まれ。2006年創形美術学校ファインアート科卒業。2007年同校研究科絵画造形課程修了。2008年パリ国際芸術都市滞在。国内外で個展やグループ展を開催。絵本やイラストの仕事多数。絵本『とおいほしでも』（文/内田麟太郎、絵本塾出版）『ゆきわたり』（文/宮沢賢治、河出書房新社）など。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	プロダクトイラストレーション	緒方 環	1単位 60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
商品に付加価値を与えるための「絵」としてイラストレーションを制作する。同時に雑貨マーケットのイラストレーションを研究する。			
<b>【講義概要】</b>			
プロダクトイラストレーションについて、いくつかのテーマをもとに実際のシチュエーションを想定し、制作する。イラストレーションを使ったオリジナルプロダクト製品及びロゴやパッケージ等を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション／第一回課題の説明	17	第三回課題途中経過発表
2	制作	18	制作
3	制作	19	制作
4	制作	20	講評会
5	制作		
6	制作		
7	第一回課題講評・第二回課題説明		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	第二回課題講評・第三回課題説明		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年生まれ。多摩美術大学テキスタイルデザイン科卒業後、渡仏。2年間のパリ滞在を経てフリーのイラストレーターに。女性誌を始め、書籍、企業カタログ、アパレルブランドイメージビジュアル、商品パッケージへのイラスト提供。2011年よりテーブルウェアブランド『hakuji』のデザイン&プロデュース。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2022年度	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ/インターンシップ	上野仁志、岡山拓	4単位 87時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。</p> <p>インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行いません。また、就職についての講義を行いません。</p> <p>就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	ポートフォリオチェック
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
13	制作		
14	制作		
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FU TO NE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員。</p>			
<p>上野 仁志：1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			